

第49回 関東中学校水泳競技大会 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2025年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則って実施する。
- (2) 競技は、予選10レーン、決勝10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
800m自由形・1500m自由形も予選と決勝を行う。
- (3) 決勝は予選の結果上位10名が出場できる。11、12位の選手を補欠とし、棄権者が出た時は順次出場権を与える。
- (4) 決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
ただし、女子800m・男子1500m自由形は、抽選によって優先順位を決定する。
スイムオフ対象者は当該競技終了後直ちにリゾリユーションデスクに集まること。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は2名とする。
- (6) 招集は、競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。補欠の選手も同時刻に集合すること。招集の際に水着の確認を行う。招集所はダイビングプールサイドに設置する。
- (7) プログラム訂正及び予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、リゾリユーションデスクに届け出ること。棄権の場合は、当日出場競技開始20分前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。なお、決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、各都県委員長を通じて速やかに文書でリゾリユーションデスクまで届け出ること。
- (8) 女子800m・男子1500m自由形における周回は、周回板を使用し、コールは行わない。
- (9) 計時は自動審判計時装置を使用する。ただし、自動審判計時装置の誤作動の場合は半自動計時を採用する。
- (10) 背泳ぎ種目・メドレーリレーはバックストロークレッジを使用し、折返し監察員が着脱業務を行う。
高さ（レベル）の調節は選手自身が行う。
- (11) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (12) 各組を、単純方式で組む。なお、エントリーのないレーンや空きレーンは、開催都県で補充することができる。
- (13) 予選競技は自レーン退水、決勝競技は横退水とする。
- (14) 予選、決勝ともに選手紹介を行う。決勝はゲートで紹介、入場とする。
- (15) また、入場及び競技中は、BGMを使用する。
- (16) 競技の結果は、電光表示板で公表し、大会新記録、大会タイ記録を通告する。
また「Live Results Swimming」で速報を公開する。
- (17) 競技会が中止の場合、競技終了時点までの得点を採用し、団体対抗の順位を決定する。
- (18) リレーオーダー用紙の提出先及び最終締切り時刻は、以下の通りとする。

種 目	提 出 先	締 切	
4×100mフリーリレー	リゾリユーションデスク	予選	7日（木）12：00
		決勝	8日（金）13：00
4×100mメドレーリレー	リゾリユーションデスク	予選	8日（金）9：00
		決勝	9日（土）10：00

※オーダー用紙提出後の変更は、原則認めない。やむなく変更する場合は、リレーに登録している選手のみ、監督名により文書で届け出ること。

2 表彰について

- (1) 総合得点の発表は、閉会式内競技結果発表で行う。
- (2) 1位から3位にメダル並びに賞状授与し表彰する。なお4位～8位までの入賞者（チーム）には賞状を授与する。
- (3) 同着の場合、上位の点を与え、次点順位を空位にする。
- (4) 表彰は、各種目男女で取りまとめるで行う。
- (5) 予選・決勝を問わず、大会新記録を樹立した選手（チーム）全員に、新記録証を授与する。
- (6) 賞状・新記録証は、1階賞状受け渡し所で各団体が受け取る。
- (7) 男女とも優勝団体には、優勝旗・優勝杯並びに賞状を授与し表彰する。男女とも2位・3位の団体には、賞状を授与し表彰する。また、4位から8位の団体に賞状を授与する。

3 プールの使用について

- (1) 開場時間について

6日（水）	7日（木）	8日（金）	9日（土）
13：00	7：30	7：30	7：30

- (2) メインプール（50m×10レーン水深2.0m）と
サブプール（50m×8レーン水深1.2～1.4m）を、飛込プール（25m水深5.0m）使用する。

- ① 使用時間

	メインプール	サブプール	飛込プール
6日（水）	13：00～17：00	13：00～17：00	13：00～17：00
7日（木）	7：30～10：15 競技終了 ～18：00	7：30～18：00	7：30～10：15 ただし、開会式中は除く
8日（金）	7：30～ 9：15 競技終了 ～18：00	7：30～18：00	7：30～ 9：15
9日（土）	7：30～ 9：15	7：30～15：00 16：00に変更	7：30～ 9：15

- ② レーンについての詳細

	メインプール			サブプール			飛込プール
	ダッシュレーン	公式スタート練習	ジェンダーレーン	ダッシュレーン	ベースレーン	ジェンダーレーン	ジェンダーレーン
6日（水）	1レーン ターンサイド 10レーン スタートサイド	なし	男子 2～5 レーン			男子 3～5 レーン	女子 メイン プール側
7日（木）	1レーン スタートサイド 10レーン ターンサイド	9：45～	女子 6～9 レーン	1レーン	2レーン	女子 6～8 レーン	男子 飛込台側
8日（金）	1・10レーン	8：45～					
9日（土）	スタートサイド						

(3) プール使用上の注意

- ① 必ずスイムキャップを着用すること。
- ② パドル、コード類の使用を禁止する。
- ③ 各自紛失や忘れ物のないよう、荷物の管理をしっかりと行うこと。
- ④ 水着等の盗難防止のためロッカー内には荷物を置かないようにすること。
- ⑤ サブプールのダッシュレーンは幼児プール側からのみとする。

※ 混雑の状況によってはダッシュレーンを増やす。ペースレーンはクロールスイムのみとする。

4 水泳場の使用について

- (1) 場内の通行は、ADカードにより制限する。制限は1日目10：00～3日目閉会式終了までとする。
- (2) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて携行すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、総合案内で再発行を受けること。
- (3) 応援者の館内への入場について特に制限は設けないが、撮影を行うときは、各都県の受付デスクで記名のうえ、撮影許可証を受け取ること。撮影許可証は常時首から下げて携行すること。また首下げ用のケース等は各自で準備すること。
- (4) 館内への入場は8月6日（水）～9日（土）まですべて2階駅側のみとする。
- (5) 館内は会場の決まりに従い、土足エリアと裸足エリアを守ること（会場資料参照）。
なお、靴袋を持参すること。
- (6) 選手スタンド・サブプールの選手控え場所は、前日練習の日から使用ができる。
- (7) 選手スタンド後方の通路は都県割に従い、ストレッチスペースとしての使用を認めるが、マットを敷きっぱなしにするなどの場所取りは禁止とする。またバランスボール・メディシンボールを投げることは禁止する。
保護者スタンド裏の使用は禁止とする。またスタンド最上段の使用も禁止とする。
- (8) 各日の終了時に荷物を置いて帰ることはできない。
- (9) 更衣室はメイン用、サブ用どちらを使用してもよい。
ただしロッカーは使用禁止とし、飲食は一切禁止とする。
荷物についてはサブプールの控え場所を利用して、各自管理を徹底すること。置き荷物は忘れ物とみなす。
- (10) スタンド裏、スタンド上段、サブプールサイドは高温になることが予想されるので、各自熱中症対策を行うこと。
- (11) プールサイドは会場の指示に従い一方通行を守ること。
- (12) プールサイドにコーチ席を設置する。使用する場合は決められた区画の中で応援するものとし、ペースメーカーとなる行為は厳に慎むこと。なお、コーチ席へはリゾリュションデスク設置の部屋を抜けていくものとする。

5 注意事項・その他

- (1) 全ての競技者は、全競技中、指示・動線に従って入場・退場を行う。
- (2) 商標等に関する規定を守ること。特に、規定に違反したバッグ類を招集所に持ち込まないように注意すること。
※【大切なことですから、本欄を読んで必ず守って下さい】を参照すること。
- (3) 記録証は、参加者全員に授与する。なお、記入は、参加団体に一任する。
- (4) 怪我等テーピングが必要な場合、所定の様式により許可を得ること。
- (5) 応急処置や救急車の手配などの救護は大会本部が行うが、その後の対応は、各都県及び参加校の責任で対応すること。
- (6) 盗難防止のための貴重品の保管は、各参加団体の責任において管理すること。
- (7) 更衣室、プールサイドは、すべて裸足とする。ただし、大会役員、競技役員、補助役員はこの限りではない。
- (8) 競技中のフラッシュ撮影は禁止とする。
- (9) 台風、落雷等の荒天については、各都県委員長と大会本部との協議の上、対応を決定する。
- (10) プログラムは1部2,500円、決勝スタートリストは1部100円、熱中症対策用ポカリスエットは1本150円。
それぞれ2階ロビー内のプログラム販売所で販売する。ただしポカリスエットは1日100本までの販売とする。